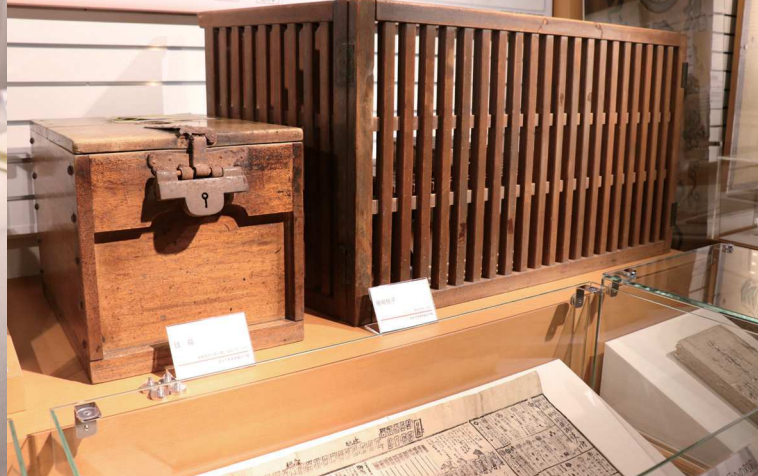




■展示室の概要

▼歴史展示室

縄文時代から現代までの幸手の歴史と人物を、資料とパネルで解説します。

・原始・古代

下総台地に暮らす人びと

・平安・鎌倉・室町時代

川のほとりの下河辺荘と武士

・室町・戦国時代

幸手一色氏の時代と幸手

・江戸時代

河川の大改修と地域開発

日光道中 幸手宿

村むらと河岸

明治・大正時代

近代化する幸手

昭和・平成時代

激動の時代を越えー今へ

幸手ゆかりの人物

郷土が生んだゆかりの人たち

▼開設記念特別展示

権現堂堤の歴史

幸手を洪水から守り続け、

今では花の名所となったふる

さとの宝物・権現堂堤の歴史

について展示します。

▼民具資料展示室

旧吉田中学校の木造校舎

(旧民具資料館)を活用し、市

民から寄贈された民具などを

展示します。



■郷土資料館が取り組む事業

市域東部の緑豊かな吉田地区の旧吉田中学校跡地に立地する郷土資料館は、つぎの事業に取り組めます。

一、郷土資料館事業

幸手の歴史や考古、民俗に関する資料を収集、調査研究、保存管理、展示公開します。

二、古文書等資料保存・公開事業

古文書等の調査研究、収集保存を行い、展示や閲覧公開します。

三、社会教育事業

講座、講習会を開催するほか、ボランティアの養成事業を実施し、人材を育成します。

四、修史事業

市史編さんの視点をもちながら、文書や記録の保存と活用に取り組みます。

五、文化財保護事業

幸手市文化財保護条例に基づき事業に取り組めます。

六、地域資源情報提供事業

幸手市にかかわる地域資源情報を市民のみなさんへ提供します。

※広報さつて10月号では、開設までの経緯を特集します。

問合せ 社会教育課 ☎(43) 111 内線643、郷土資料館開設準備担当 ☎(47) 2521

■所在地

幸手市大字下字和田 58 番地 4

■開館時間

午前 9 時から午後 5 時まで

※オープン初日の 10 月 23 日(火)は、午後 1 時から開館

※6 月から 9 月の土曜、日曜、祝日は午後 9 時 30 分まで開館

毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる場合は翌日の火曜日)

1 月 1 日から同月 3 日までおよび 12 月 29 日から同月 31 日まで

■休館日

幸手市とベナン共和国

東京 2020

オリンピック・パラリンピック

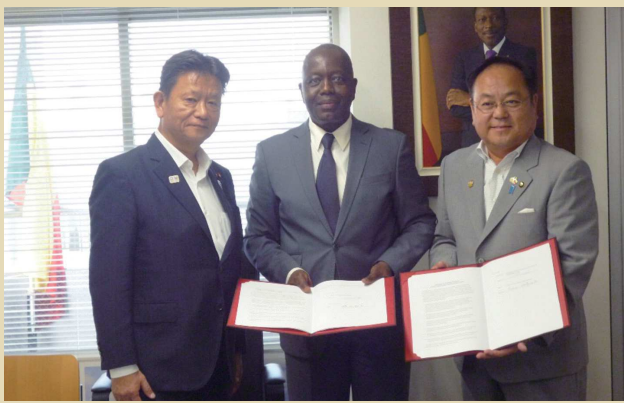
交流事業の合意書を締結

幸手市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に参加を予定している諸外国との交流事業の検討を進めていきましたが、この度、幸手市長と駐日ベナン共和国特命全権大使において、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした交流事業の合意書」を締結しました。

7 月 24 日(火)に駐日ベナン共和国大使館において、渡辺邦夫幸手市長(写真右)と、駐日ベナン共和国特命全権大使のアデチュブ・マカリミ・アピソラ閣下(写真中央)が、三ツ林裕巳衆議院議員(写真左)

同席のもと、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした交流事業の合意書」に署名しました。

今後、東京 2020 大会に参加されるベナン共和国の選手などと、幸手市民との交流を深めるため、文化・スポーツに関するさまざまな交流事業の検討・協議を進め、相互の友好協力の発展と、スポーツの振興、地域の活性化、グローバル化の推進などを図ります。



問合せ 社会教育課 ☎(43) 111 内線643